



半能高砂長島茂



翁塩津哲生

第八回 品川能楽鑑賞会

きゅりあん大ホール
柿落とし公演

令和5年 **10月1日(日)**
14:00 開演 (13:00 開場)
きゅりあん大ホール
(大井町駅前)

〒140-0011 東京都品川区東大井5-18-1

チケット 全席指定

S席 4,000円 A席 3,500円
前売開始 令和5年 7月28日(金)

お問合せ

- ・喜多能楽堂
tel. 03-3491-8813
http://kita-noh.com/
- ・品川区文化スポーツ振興部文化観光課
tel. 03-5742-6836
fax. 03-5742-6893

主催：公益財団法人十四世六平太記念財団
品川区、品川文化振興事業団

Photo: 「翁(塩津哲生)」撮影：©仁藤正憲
「高砂(長島茂)」撮影：©(株)前島写真店

地元品川区の皆様にご代表する古典演劇・能楽に親しんでいただこうと、喜多能楽堂が開催を続けている品川能楽鑑賞会。第8回を迎える今年は、共に主催する品川文化振興事業団が運営する、きゅりあん大ホールの大規模改修工事を終えての柿落とし公演として開催します。ホールの弥栄、そして品川区民の健康安寧ひいては天下泰平を願って、ホール公演では上演の珍しい「翁」と半能「高砂」をお届けします。

公演情報

第八回 品川能楽鑑賞会

- ◆ 日時
令和5年 10月1日(日) 14:00 開演 (13:00 開場)
- ◆ 会場
『きゅりあん大ホール』(大井町駅前)
- ◆ 料金 (全席指定)
S席 4,000円 A席 3,500円
※未就学児童の入場はご遠慮ください。
- ◆ チケット取扱い
前売開始：令和5年 7月28日(金)

チケット予約購入のご案内

WEB

- (公財)品川文化振興事業団
品川文化振興事業団ホームページ (発売初日9:00~)
<https://shinagawa-culture.or.jp>
- 喜多能楽堂
喜多能楽堂ホームページ (発売初日10:00~)
<http://kita-noh.com/>

窓口販売・電話予約

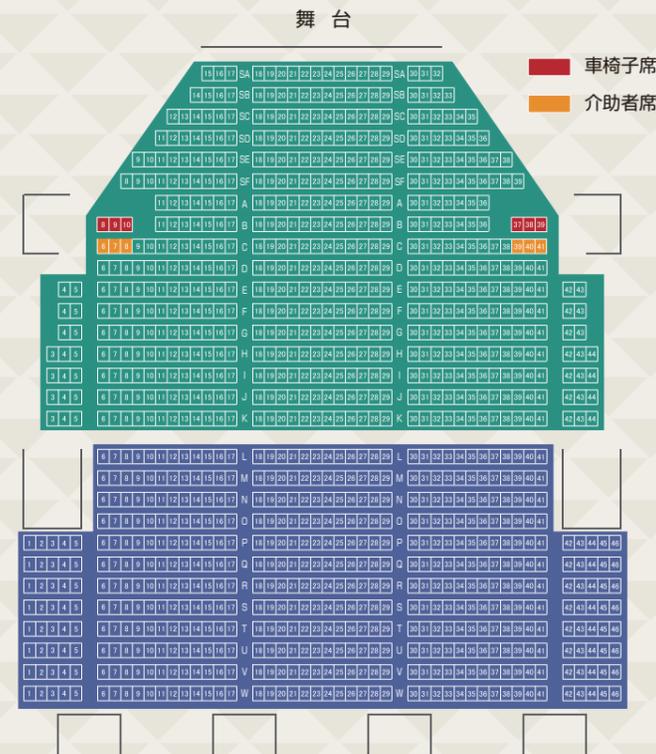
- (公財)品川文化振興事業団
[窓口販売]
・きゅりあん (9:00~)
・スクエア荏原 (9:00~)
・メイプルカルチャーセンター (9:00~)
・O美術館 (発売初日9:00~ ※翌日以降10:00~)
- [電話予約] ※座席の選択はできません。
・チケットセンター CURIA (キュリア)
03-5479-4140 (10:00~)
- 喜多能楽堂 令和5年 7月31日(月)より受付
[窓口・電話] 03-3491-8813 (10:00~)

ご注意

- ・「翁」上演中に入退場はできません。慣例として予めご了承ください。
- ・車椅子席はチケットセンター CURIA(キュリア)までお申し込みください。
- ・未就学児童のご入場はご遠慮ください。・許可なき撮影、録音はお断りします。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・公演中止の場合を除き、予約後の変更、キャンセル、再発行はいたしません。

観客席御案内

S席 4,000円 A席 3,500円



会場案内図



〒140-0011 東京都品川区東大井5-18-1

JR京浜東北線・東急大井町線・りんかい線『大井町駅』より徒歩2分

お問い合わせ

- ・喜多能楽堂 TEL.03-3491-8813 (10:00~18:00) 喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com>
- ・品川区文化スポーツ振興部文化観光課 TEL.03-5742-6836 FAX.03-5742-6893

第八回 品川能楽鑑賞会

令和五年

十月一日(日) 十四時始

きゅりあん大ホール

解説

「翁」(おきな)

「翁は能にして能にあらず」と言われ、戯曲的な構成は無く、天下泰平、国土安穩、五穀豊穰を祈る神聖な儀式といえるものです。

初めの(翁渡り)で、千歳、翁、三番叟が橋掛りから進み出るのに続き、素襖、侍烏帽子の最高礼装の囃子方、後見、地謡方が登場、三番叟以下は橋掛り待ち、正面での翁の一礼の後、一同所定の位置につき演奏が始まります。

まず三挺の小鼓が打ち出し、翁の謡い出しにつづき千歳が舞を始めます。その舞の間にシテの翁は白式尉の面(切顎)という顎のところで二つに分かれ、飾眉を貼り付けた他にない特色ある面で、目はへの字にくりぬかれ笑と福顔をたたえています)をつけ終わり、荘重な翁の舞となります。

舞終わると翁は面をとり、礼をして退場します(これを(翁帰り)と称します)。
続いて三番叟の舞となり、はじめに面をつけず掛け声を掛けながら舞う(採の段)、そして黒式尉という面をつけて鈴を振りながら舞う(鈴の段)と続きます。

舞が終わると三番叟は面と鈴を置いて退場し演奏が終わります。

当日は(翁飾り)と称して、鏡の間に簡単な祭壇を設け、面を収めた面箱を飾り、神酒、洗米、塩を供えます。出演者全員が神酒を飲み、米を噛み、塩で身を清め、火打石で切火を受けてから舞台に出ます。

神事に奉仕する心で勤める出演者と神事に参加する心の観客とが一体となって神聖な空間を共にするひとときです。

(約六十五分)

※「翁」上演中の入退場はできません。
慣例として予めご了承ください。

半能「高砂」(たかさご)

肥後国・阿蘇の宮の神主・友成が都見物の途中、播磨国・高砂に立ち寄り海を眺めていると箆を手にした老人夫婦がやってきて友成に高砂と摂津国・住吉の松をあわせた「相生の松」の謂われを語ります。そして自分たちこそ高砂と住吉の神であることを明かし、住吉で待つと言いつつ小船に乗って沖に消えていきます。

友成が老人を追って住吉に着くと月光の満ちる浜辺に住吉明神が現れ颯爽と神舞を舞うのでした。天下泰平、国土安穩の祝意のこめられた能を表す演目として広く親しまれている一曲。

今回は半能の形で住吉に着く後半の場面の上演です。

(約二十分)

翁

塩津哲生

千歳 岡 聡史

三番叟 野村遼太

後見 野村万作

狂言後見 破石晋照

大鼓 柿原光博

脇鼓 清水和音

小鼓 大倉源次郎 笛 藤田貴寛

脇鼓 上田敦史

後見 香川靖嗣

佐々木多門

地謡

塩津圭介 金子敬一郎

粟谷充雄 大村 定

内田成信 出雲康雅

大島輝久 粟谷明生

休憩(二十分)

半能

シテ・住吉明神 長島 茂

高砂

ワキ・神主友成 大日方寛

ワキ連・従者 則久英志

ワキ連・従者 小林克都

大鼓 柿原光博 太鼓 大川典良

小鼓 大倉伶士郎 笛 藤田貴寛

後見 高林呻二

大島輝久

地謡

金子龍晟 佐藤 陽

狩野祐一 狩野了一

谷 友矩 中村邦生

高林昌司 粟谷浩之